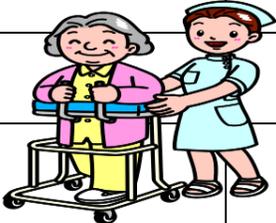
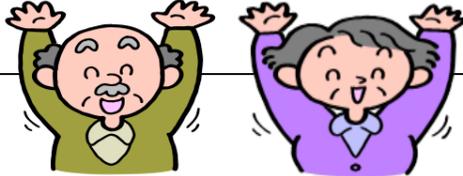


暦日	/ ( )	/ ( )		/ ( )	/ ( )	/ ( )
病日	手術前日	手術当日(行くまで)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目
達成目標	手術・麻酔に対する不安が表出できる 手術前の検査が終了し準備が整っている 手術の必要性を理解し同意する	落ち着いて手術を受けることができる	鎮痛薬を使用し疼痛の緩和が出来る 安静度を守り、ドレナージが効果的にできる	鎮痛薬を使用し疼痛の緩和が出来る ドレナージが効果的にできる	鎮痛薬を使用し疼痛の緩和が出来る ドレーンが抜去でき、スムーズに離床できる	鎮痛薬を使用し疼痛の緩和が出来る スムーズに離床が出来る
治療 処置 薬剤 リハビリ	髭剃り、爪切りをしてもらいます 弾性ストッキングのサイズを測定します <準備するもの> 浴衣1着 バスタオル1枚 コルセットの有無⇒無い場合には主治医と相談し作成します 	内服薬がある方は看護師が持ってきてしますので内服してください 手術開始が9時以外の方は9時頃から点滴を開始します	点滴や酸素マスクをしています こまめに体温や血圧を測ります 創部にはドレインが入っています 創部に留置しているドレインが抜けないように、身体の向きを変える時は看護師と一緒にします 抗生剤の点滴が定期的にあります(3日間)	創部に留置しているドレインが抜けないように、身体の向きを変える時は看護師と一緒にします ドレーンの量によって抜去する日が決まります 鎮痛薬の内服が開始となります リハビリが開始になります(平日)	創部に留置しているドレインは、ドレーンの量によって抜去する日が決まります ドレーン抜去後はガーゼで保護するかテープを貼ります 	まだドレインが留置している際は主治医と相談のもと抜去を検討します 
検査	心電図、心エコー、胸写、採血などが終了しているか確認します			採血があります		採血があります
活動 安静度	普段と変わりありません		ベッド上安静で過ごしてもらいます 頭元を少し上げたり、横を向くことが出来ますが、痛みが強くなったり大切な管が抜ける可能性があるため看護師と一緒にいきます	ドレーン抜去後はコルセットを付けて、離床をしましょう 車椅子や歩行器を使用しましょう 慣れるまでは看護師が介助や見守ります	ドレーン抜去後はコルセットを付けて、離床をしましょう 車椅子や歩行器を使用しましょう 慣れるまでは看護師が介助や見守ります	コルセットを装着して歩行器歩行ができる 安定した移動が出来るように頑張りましょう
栄養 (食事)	普段と変わりありません 絶飲食を開始する時間の説明があります <b>消灯後より絶食となります</b>	絶飲食の時間を守ってください 飲水( )時まで可	術後は絶飲食です 開始については医師や看護師が伝えます 	朝食を半分以上摂取出来れば点滴は終了します	制限はありません 	
清潔	シャワー浴をしてもらいます	点滴を始める前に手術着に着替えます		創部を汚染しないように清拭、着替えを行います		創部が防水できれば、コルセットを外して、シャワー浴可能になります 腰をひねらないようにしましょう
排泄	手術前日は排便がある事を確認します 排便がない場合には、坐薬や浣腸を行いますので、お知らせください		尿の管が入っており自然に出ているので心配はいりません 排便はベッドの上ですることになります 方法はその際に説明します	尿の管は創部に留置しているドレーンが抜去できた後に外します		

説明 指導	麻酔の先生や手術室の看護師からのお話 があります 喫煙は控えてください(喫煙すると手術はで きません)		長い間仰向けになりますので、苦痛を 伴うと思います 自分で動かずに看護師にお伝えくだ さい	痛みが強い時や体の向きを変えた いときには、我慢せずに看護師に伝 えてください		
----------	--	--	--	---	--	--

腰椎椎間板ヘルニア 椎間板摘出術を受ける患者様へ 氏名 ( ) 様 主治医 ( ) 受持ち看護師 ( )

暦日	/ ( ) ~ / ( )	/ ( )	/ ( ) ~ / ( )	/ ( )
病日	手術後4~6日目	手術後7日目	手術後8~13日目	手術後14日目
達成目標	鎮痛薬を使用し疼痛の緩和が出来る 安定した移動ができる	鎮痛薬を使用し疼痛の緩和が出来る 安定した移動ができる	鎮痛薬を使用し疼痛の緩和が出来る 安定した移動ができる リハビリで歩行訓練できる 退院に向けて不安なことを解決することができる (必要時には試験外泊もできます) 日常生活動作が自分でできる	鎮痛薬を使用し疼痛の緩和が出来る 安定した移動ができる 退院準備が整う
治療 処置 薬剤 リハビリ	平日はリハビリの先生が来られます 術後5日目に創部のチェックをします 	活動量を増やし、体力や筋力をつけましょう 術後7日目に創部のチェックをします	土日祝日は自主訓練をしましょう 活動量を増やし、体力や筋力をつけましょう 術後10日目に創治療が良好な場合、抜鉤します 術後11日目に創部のテープを除去します 	活動量を増やし、体力や筋力をつけましょう 土日祝日は自主訓練をしましょう
検査		採血、レントゲンがあります	術後10日目に採血があります	歩行訓練を頑張りましょう
活動 安静度	制限はありません			
栄養 (食事)	制限はありません			
清潔	創部が防水できればシャワー浴可能になります	移動動作が安定するようになれば、シャワー浴は自立になります		
排泄	普段と変わりありません			
説明 指導	リハビリに従い離床していきましょう 疼痛がある場合には看護師に 伝えてください 	術後7日までに今後の方針を主治 医、看護師と話し合しましょう  (自宅退院もしくは転院)  転院の場合には転院調整を行います		予定より早く退院になることもあります 主治医に確認したいことなどある際は、退 院前日までに、主治医か看護師までお伝 え下さい